

公益社団法人 日本臨床細胞学会
平成 28 年度(2016 年度)第 2 回理事会議事録

日 時：平成 28 年(2016 年)5 月 27 日(金) 15 時 30 分～18 時 30 分
場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー 大会議室(2501) 25 階

役員総数： 40 名(理事 40 名, 監事 3 名)

出席総数：理事 36 名, 監事 3 名

(理事長) 青木大輔 (副理事長) 紀川純三, 越川卓, 植田政嗣, 佐藤之俊 (理事) 池田徳彦, 石井保吉, 伊藤潔, 伊藤仁, 稲山嘉明, 井上健, 榎本隆之, 小田瑞恵, 落合和彦, 加来恒壽, 加藤久盛, 川本雅司, 小西登, 小松京子, 齋藤豪, 生水真紀夫, 白石泰三, 竹島信宏, 内藤善哉, 長尾俊孝, 中村直哉, 羽場礼次, 平井康夫, 広岡保明, 藤井多久磨, 前田一郎, 森井英一, 森谷卓也, 山城勝重, 横山繁生, 横山正俊

(監事) 長村義之, 佐々木寛, 長谷川壽彦

(総務委員会幹事) 柿沼廣邦, 垣花昌俊, 所嘉朗, 富永英一郎, 星利良, 町田知久, 山下博

(細胞診専門医会会長) 土屋眞一

(制度審議委員陪席) 平田哲士

(平成28年度総会議長) 長谷川清志

(平成28年度総会副議長) 小笠原利忠

(教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループ委員長) 杉山裕子

(会計士) 中田ちず子

(名誉会員陪席) 垣花昌彦, 覚道健一, 柏村正道, 藏本博行, 坂本穆彦, 團野 誠, 野田起一郎, 野田定, 半藤保, 藤澤武彦, 前田昭太郎, 安田允

欠席者：(理事) 岡本愛光, 河原栄, 寺本勝寛, 八重樫伸生

(総務委員会幹事) 丸田淳子

(制度審議委員陪席) 北村隆司

議長選出の議：本学会定款第 33 条に則り, 池田徳彦総務委員長が議長となった。

議長は定款第 34 条に則って, 理事総数の過半数(36 名)の出席により定足数を満たしたので本法人の理事会が成立した旨を述べた。

議事録署名人選出：定款 35 条に則り, 議事録署名人は理事長並びに監事 3 名とすることが確認された。

理事長および第57回(2016年)春期大会長挨拶：青木大輔

1. 理事長報告：青木大輔

漸く、第 57 回日本臨床細胞学会春期大会(JSCC)を開催する運びとなった。今回の春期大会は The 19th International Congress of Cytology(ICC2016)との合同開催ということで私がお世話をさせて頂いた。こういう形で学術集会を開催するのは、今回がはじめてである。先生方には何かと不慣れな点、奇異に感じる点があろうかと思われるが、お許しを頂きたい。色々な企画を考えさせて頂いたが、JSCC にご参加の皆様には、ICC2016 のホストという感覚になって頂ければと思っている。明日は JSCC が開催され、明後日の日曜日は JSCC と ICC2016 が平行して開催される。会場にて日本語と英語が混同することを避けるため、会議棟の 4-5 階以外は英語での配慮をとらせて頂いた。JSCC にご参加の皆様には混乱があるかもしれないが、お許し頂ければと思う。本学術集会では、マイアプリにてスケジュール管理・プログラムおよび抄録閲覧が出来るように準備させて頂いた。非常に便利な機能であるため、是非ご活用頂きたい。学術集会の事前参加登録数は、5 月 19 日で 3440 名であった。国別の内訳は、日本が 2749 名、中国が 140 名、アメリカが 76 名、台湾が 62 名、オーストラリアが 45 名、インドが 35 名、韓国が 33 名、フィリピンが 18 名、タイが 17 名と続き、日本の位置的な関係より、アジア圏の参加が大変多く、ヨーロッパからの参加が少なかった。これで、学術集会を進めて行きたいと思う。登録演題数は、JSCC では一般演題が 304 演題、ICC2016 では口演が 150 演題、ポスターが 264 演題、ワークショップやビデオレクチャー等の有料セッションが 52 演題である。ICC2016 での有料セッションの参加が少ないので、先生方にもお誘い合わせの上、ご参加頂けることを期待している。また、ICC2016 では、オープニングセレモニー、ウェルカムレセプション、コンGRESディナー等の JSCC、ICC2016 合同の企画を用意している。本理事会においては、公益法人にとって重要な JSCC での総会に向け適切な議論を進めて頂きたい。これから長時間になるが、是非先生方のご協力を賜りたい。

2. 副理事長報告

紀川純三：学術、編集、国際交流、IAC を担当する。学術担当として学術集会のあり方を再評価し、学術委員会内にワーキンググループを設置し、学術集会のあり方の検討を進めていく。

越川 卓：認定試験、検査士、教育を担当する。担当する平成 28 年度の事業は順調に進んでいる。明日は国際細胞学会議(ICC2016)中に CT(IAC)および cytopathologist 資格認定試験が臨時に行われるが、その他は例年通りに進んでいる。

植田政嗣：専門医制度、専門医を担当する。日本専門医機構の指針に沿って細胞診専門医制度の改革・推進を行っている。現在、総合診療医を加えた 19 の基本領域学会の認証がほぼ終了し、本年度は未承認領域を含めた 29 のサブスペシャリティ学会の認証が年内に行われる予定である。日本臨床細胞学会は、未承

認学会の筆頭に挙げられている。日本専門医機構よりサブスペシャリティ学会に向けた専門医研修プログラム整備基準についての正式な発表はまだないが、基本領域に準じたものであると推測される。これを基に、細胞診専門医会の細胞診専門医あり方委員会 亀井委員長および森井副委員長のご尽力により専門医研修モデルプログラム整備基準案のほぼ完成に近いものが出来上がっている。7月に日本専門医機構より臨時のヒアリングが行われる予定であり、それを持って、青木理事長、植田副理事長、森井理事の3名で参加する。そこで、上手く採用されるようにしたく、本年度中には本学会がサブスペシャリティ学会として日本専門医機構に認証されるようにしたい。それに関する細則等々の改定については、理事会にて決定していく。

佐藤之俊：総括、財務、渉外を担当する。本日の審議事項にあるように、本年度は評議員の選出ということがあり、それを粛々と進めてきた。これについては後の議題に挙がるので、ご審議頂きたい。

3. 平成 28 年度総務庶務報告（池田 徳彦 総務委員会委員長）

（平成 28 年 5 月 19 日現在）

全会員数：12,285 名（正会員 5,767 名、準会員 6,490 名、図書会員 28 件）

細胞診専門医および細胞診専門歯科医数：2,831 名（実数）

（認定：細胞診専門医 3,325 名、細胞診専門歯科医 45 名）

FIAC：105 名 MIAC：38 名

細胞検査士数：7,424 名（実数）（認定 9,364 名）

CT(IAC)：4,784 名

物故会員

（正会員）

名誉会員 鈴木 雅洲先生（(医)社団スズキ病院理事長）

石束 嘉男先生（株式会社 LSI メディエンス病理・細胞診ラボラトリー常勤顧問）

坪井 栄孝先生（一般財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院）

功労会員 春日井 達造 先生（(財)愛知診断技術振興財団理事長）

細胞診専門医 重政 和志 先生（重政レディースクリニック）

（準会員）

村松 さゆり 殿（伊那中央病院臨床検査科）

河野 正実 殿（(医)財団豊島健康診査センター）

黙禱

4. 第 55 回平成 28 年(2016 年)秋期大会準備状況：（横山繁生理事）

会期：2016 年 11 月 18 日(金)，19 日(土)

場所：大分 B-ConPlaza (別府国際コンベンションセンター)

5. 第 58 回平成 29 年(2017 年)春期大会準備状況：(植田政嗣副理事長)

会期：2017 年 5 月 26 日(金)，27 日(土)，28 日(日)

場所：大阪 大阪国際会議場

6. 第 56 回平成 29 年(2017 年)秋期大会準備状況：(加来恒壽理事)

会期：2017 年 11 月 18 日(土)，19 日(日)

場所：福岡 福岡国際会議場

7. 第 59 回平成 30 年(2018 年)春期大会準備状況：(斎藤豪理事)

会期：2018 年 6 月 1 日(金)，2 日(土)，3 日(日)

場所：札幌 ニトリ文化ホール

8. 各種委員会での議事の経過概要および議決結果

総務委員会 (委員長 池田 徳彦)

[報告事項]

1. 資料に沿って総会の議事次第についての説明があり，総会出席についての呼びかけがあった。
2. 資料に沿って，本学会の今後の会議予定の確認を行った。

[審議事項]

1. 会費滞納者に関して
2013 年および 2014 年の会費滞納者の一覧が提示され，会員資格が停止されることが承認された。
2. マイナンバー制度への対応
資料に沿って本学会のマイナンバー対象人数が 270 人であることが報告された。また，マイナンバー外部委託会社の一覧が提示され，業務内容，見積額，会社実績から現時点ではミロク情報サービスを第一候補とすること，業務委託契約の締結については理事長および総務委員会に一任することが提案され，承認された。
3. 熊本震災の義援金に関して
本年 4 月中旬以降より発生している熊本震災に対する義援金の申し出が本学会会員より多数あり，東北震災時と同様に本学会本体，細胞診専門医会，細胞検査士会，地域連携組織の 4 団体から被災地に義援金を送ること，本学会からは 50 万円を義援金として送金することが提案され，承認された。また，青木春期大会長のご厚意により，学術集会会場に義援金のチャリティー箱が設置されることが報告された。
4. 倫理委員会の委員長の後任について
倫理委員会委員長 河原 栄理事が一身上の都合により理事を辞任することが報告された。青木理事長より，河原委員長の後任として伊藤 潔理事が推薦され，全員一致で承認された。

情報処理委員会（委員長 伊藤 仁）

〔報告事項〕

1. 新ホームページ（HP）について
2016年5月20日（金）に公開した。
2. 4月～5月に断続的に続いたHP閲覧不能の件について
不正なアクセスで膨大な回数の攻撃を受け、サーバーがメモリ不足になりコンテンツが表示されないという現象が生じた。不正なアクセスのIPアドレス（191.96.249.5）を遮断するように設定し対応した。

【今後の対策について】

別のIPアドレスによる不正アクセスが今後も起こる可能性があるため、コングレより以下の3点の対策について提案をいただいた。学会間近ということもあり早急の対応が必要なため、理事長にご判断いただき、とりあえず1案、2案については5月19日に実施を依頼した。

- 1) アクセス可能な国を限定する
- 2) サーバーを探る様なアクセスを遮断する
- 3) WP管理画面のIPアドレス制限をかける

費用については、1案と2案が、各20,000円程度（諸費・税別）、3案が25,000円～35,000円（諸費・税別）程度で、3案全てできれば、より強い不正アクセスへの対策となる。新HP公開後、3案を実施する予定である。

3. HP新着情報のメール配信について
HP更新情報を会員へ積極的にメール配信することになった。役割分担について渉外広報委員長と協議し、メール配信については渉外・広報委員会の分担業務とすることを確認した。
4. 英語版の本学会web siteについて
前理事会にて長村IAC連絡委員長より要望のあった、英語にてJSCCを検索した場合に英語版のweb siteに入れるよう設定する件についてコングレに申し出をした。
5. その他
 - ・2016年5月19日現在のマイページログイン率
医師:37.47% 技師(正会員):51.55% 技師(準会員):44.47%
名誉会員:25.00% 功労会員:30.86% 合計:42.27%

〔審議事項〕

特になし

学術委員会（委員長 内藤 善哉）

〔報告事項〕

1. 学会賞・技師賞・班研究課題の応募について、ホームページ及びイエローページに掲

載した。また、応募のお知らせは、渉外・広報委員会 加来委員長を通じて、会員に一斉メール送信する。

締切は2016年7月6日(水)必着

引き続き選考手続きを行う予定である。

2. 各種選考に際し、規定以外に選考方法に関する具体的な内規を作成中である。
3. 学術集会のあり方を検討するワーキンググループを学術委員会内に設置する。その人員等の詳細については、1年程度を目処に作成していく方針である。その間の学術集会の運営に関しては従来通りに行っていく。秋期大会時に理事会を開催するかについては、決定している大会長とともに話し合いをし、決定する予定である。

〔審議事項〕

1. 第55回平成28年(2016年)秋期大会時の理事会の日程について

次回の秋期大会時の理事会の日程について審議した結果、2016年11月18日(金)、AM 7:00より行うことが決定した。

計理委員会 (委員長代理 伊藤 潔理事)

〔報告事項〕

1. 経理基準の作成について

経理基準の作成について、中田会計士事務所とともに作成を進める予定である。まずは退職金規則を作成する予定であるが、労務規則の関連とともに重要な基準となるため慎重に進めたいと考えている。

〔審議事項〕

特になし

編集委員会 (委員長 竹島 信宏)

〔報告事項〕

1. 2016年日本臨床細胞学会雑誌55巻1号・2号の発刊。
2. 評議員申請における査読義務に伴い、Editorial Managerへ登録人数の上限の確認。
3. ActaCytologicaの日本代理店であるKARGAR社から提案された優先レートでの購買促進の内容を学会ホームページに載せ、渉外・広報委員会を通じて会員へ一斉送信する予定である。

〔審議事項〕

特になし

細胞診専門医委員会 (委員長 齋藤 豪)

〔報告事項〕

1. 平成 28 年度細胞診専門医資格認定試験

2016 年 11 月 27 日(日)に「AP 浜松町」で施行予定。筆記試験問題 25 問, 細胞像試験(カラープリント)問題 25 問の 50 問(50 点)とガラス検鏡問題 50 点の合計 100 点。医師は全て総合科に統一。歯科医師はガラス検鏡問題のみ歯科口腔領域を選択。昨年に引き続き、マークシート方式を採用。

2. 平成 28 年度細胞診専門医資格更新

3. 平成 28 年度細胞診専門医資格更新対象者ナンバーは, 774-899, 1171-1241, 1447-1509, 1711-1797, 2160-2274, 2578-2672, 2962-3051, および歯科医師会員 8001-8017。細胞診専門医会出席義務廃止, クレジット重視, 本法人学術集会(春期・秋期)2 回以上出席要, 次回更新は 5 年後。

4. 新規セミナー・ワークショップ等の企画

5. 指定講習会・セミナーに参加出来なかった際の e-learning での研修が行えるように, 研修指定講座に対する DVD を作成した。細胞診専門医の更新の際にポイントが必要な専門医へ貸し出し, ポイントを与えられる仕組みを 8 月より行えるよう, 細胞診専門医会にて DVD を見たかについての設問を作成し, 1 設問に対し正解した場合に 1 ポイントを与えられるように進めていく。

〔審議事項〕

1. 更新期間変更にもなう更新料の変更について

細胞診専門医の更新期間が 4 年から 5 年に変更となることに伴い, 更新料を 12,000 円(+消費税)とすることが提案され, 承認された。

施設認定制度委員会 (委員長 長尾 俊孝)

〔報告事項〕

1. 細則の変更: 認定施設・教育研修施設の認定期間を 4 年から 5 年に変更 (平成 28 年度認定および更新施設より施行)

2. 当委員会申し合わせ事項の変更 (平成 29 年度から施行予定)

・ 教育研修施設年報の記載期間: 1 月 1 日~12 月 31 日 (変更前: 4 月 1 日~3 月 31 日)

・ 教育研修施設新規申請締め切り: 毎年 3 月 31 日 (変更前: 6 月 30 日)

・ 教育研修施設更新申請締め切り: 更新年の 3 月 31 日 (変更前: 6 月 30 日)

3. 平成 26 年度 (2014 年) 年報集計結果をホームページ上に掲載済み。

4. 今後, 年報集計の簡略化に向けて委員会内でワーキングを設置し, 検討していく予定である。

〔審議事項〕

特になし

細胞検査士委員会（委員長 加藤 久盛）

〔報告事項〕

1. 2016年CT(IAC)資格認定試験
2016年5月28日(土)にパシフィコ横浜において実施する。
2. 平成28年度(第49回)細胞検査士資格認定試験
1次試験は2016年10月29日(土)にCIVI研修センター新大阪東において実施予定。
2次試験は2016年12月10・11日(土・日)に東京富士大学において実施予定。
3. 細胞検査士の資格更新期間が4年から5年に変わることに伴い、更新手数料を4500円に変更すること、更新手数料の変更は今年度より開始することが確認された。
4. 細胞検査士養成課程、養成所の申請に必要な資料の確認、検討及び養成所開設後の申請内容確認について定期報告の義務付けについて
養成課程、養成所開設後は5年ごとに重要事項を報告していく方向性で細胞検査士会にて検討する。また、申請に係る資料及び報告書の内容について、内規とするか、学会の細則とするかを含めて検討し、次回の理事会の協議事項とする予定である。

〔審議事項〕

特になし

細胞検査士資格更新審査委員会（委員長 羽場 礼次）

〔報告事項〕

1. 平成27年度 細胞検査士資格更新者(ピンク・カード)
全更新対象者数：1507人
更新完了者：1418人(94.1%) 条件付き更新完了者：23人 保留更新者：3名
未申請：10人 更新辞退・退会者：31人 資格失効：1人
更新未完了者：19人(再提出・未入金等) 宛名不明：2人
2. 平成28年度 細胞検査士資格更新対象者メンバー(グリーン・カード)
0138～0194, 0364～0439, 0760～0912, 1147～1353, 2068～2258, 2913～3119,
3932～4209, 4942～5134, 5813～6050, 6574～6748, 7450～7685, 8318～8612
更新予定者：1819人
※ 2017年2～3月に更新審査予定。次期更新は5年後。

〔審議事項〕

特になし

教育委員会（委員長代理 平井 康夫理事）

〔報告事項〕

1. 平成28年度決定済みの予定

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第 125 回細胞検査士養成講習会	2016 年 7 月 4-16 日	東京医学技術専門学校：東海大学医学部・伊藤 仁
第 41 回細胞診断学セミナー	2016 年 8 月 4-7 日	東京医学技術専門学校・教育委員長
第 71 回細胞検査士教育セミナー	2016 年 8 月 27-28 日	日本教育会館：片山 博徳
第 72 回細胞検査士教育セミナー	2016 年 9 月 10-11 日	松下 IMP ホール：矢羽田 一信
第 72 回細胞検査士ワークショップ	2016 年 7 月 23-24 日	札幌医科大学：田上 稔
第 73 回細胞検査士ワークショップ	2017 年 2 月または 3 月の 土日	会場未定：平田 哲士

2. 現在、セミナー・ワークショップの原価計算を行っており、その結果、適正な受講料案が事務局より提出される予定である。

〔審議事項〕

1. 資料に沿って、ワークショップ・セミナー開催の際に「細胞診ガイドライン」に則った教育願いの文章を実施委員長に送ることが提案され、承認された。

渉外・広報委員会（委員長 加来 恒壽）

〔報告事項〕

1. 医療関連サービス振興会（本委員会の委員長は振興会の副委員長）の年 2 回の会議に出席し、全国の検査施設の病理組織診・細胞診が欠陥無く行われているかをチェックした。
2. 日本がん治療認定医機構の関連学会連絡委員会に出席し、学会として求められた対応を行うとともに情報の収集・共有に努めた。
3. 日本臨床検査標準協議会に出席し、学会として求められた対応を行うとともに情報の収集・共有に努めた。
4. 衛生検査所調査指導中央委員会に出席し、学会として求められた対応を行うとともに情報の収集・共有に努めた。

〔審議事項〕

1. 会員へ一斉メール送信する広報システムについて
施設認定・評議員の申請・学会賞の応募等の重要な申請事項、ホームページに up-to-date された情報、日本臨床細胞学会雑誌の発刊については加来委員長を通じて会員に一斉メール送信すること、メールにはお知らせの詳細がみられる URL を添付して送信することが提案され、承認された。

社会保険委員会（委員長 稲山 嘉明）

〔報告事項〕

1. 平成 28 年度診療報酬改正の総括
 - *セルブロック法が N004 細胞診の項目に掲載された(860 点). ただし, 悪性中皮腫を疑う場合に限定されている.
 - *細胞診として扱われているので, 現状ではこれを用いた免疫染色は不可と思われる.
2. 平成 30 年度改正にむけた要望の検討に入る. 具体的には, 委員会開催, メール審議, 必要に応じてアンケート調査, 関連学会等との話し合い, 内保連出席など.

〔審議事項〕

稲山委員長より, 2 年後の診療報酬の改定に向けての意見を半年以内に頂きたいとの呼びかけがあった.

地域連絡委員会（委員長 広岡 保明）

〔報告事項〕

1. 全国地域組織一覧
2. 平成 26 年度 地域連携組織の活動調査報告
 - 1) 連合地域連携組織 活動報告
 - 2) 都道府県地域連携組織 活動報告
3. 平成 26 年度 細胞診検体に関するアンケート（定点観測）集計結果
4. 子宮頸がん検診推進活動支援
 - 1) 平成 27 年度子宮頸がん検診推進活動
全国 39 都道府県で実施され, 学会からの助成金, 送金手数料, 送料など合計約 286 万円が各都道府県地域連携組織に送金された. この成果報告はイエローページに掲載する.
 - 2) 平成 28 年度は全国 43 都道府県より申請が出された. 助成金は 5 万円を上限とする.

〔審議事項〕

1. 細胞診検体定点観測事業についての今後の方針
平成 26 年度 細胞診検体に関するアンケート（定点観測）の集計結果より, あまり活用されていないことが報告され, 定点観測を一旦終了し, これまでの結果からその意義等について論文化することが提案され, 承認された.
2. 熊本震災の義援金について
広岡委員長より, 地域連携委員会および全国地域代表者会議にて各地域連携組織より熊本へ義援金を送ることが提案されたとの報告があり, 本学会にて義援金を一括して振り込み・送金するための口座開設が提案され, 承認された.

国際交流委員会（委員長 森谷 卓也）

〔報告事項〕

1. 日本-豪州の人事交流について検討中である。
2. 第15回日韓細胞診合同会議
開催日：2016年10月29日(土)
開催地：韓国・済州島(Jeju Hyatt Hotel)
(2017年以降は毎年9月第1週金曜日・土曜日に開催することが決定している)

〔審議事項〕

特になし

制度審議委員会（委員長 川本 雅司）

〔報告事項〕

1. 理事会, 総会承認に基づく定款, 細則改定の実施
2. 各委員会内規の把握とりまとめの実施

〔審議事項〕

1. 日本臨床細胞学会細胞検査士会に関する施行細則の変更
資料に沿って細胞検査士会に関する施行細則の変更案が提示され, 細則変更事案が理事会にて承認された。細胞検査士会に関しての承認については細胞検査士会総会時の承認事項とすることが決定した。
1. 川本制度審議委員より, 各委員会の内規を制度審議委員会に提出して欲しいとの呼びかけがあった。

医療安全委員会（委員長 森井 英一）

〔報告事項〕

1. 医療安全セミナーの開催
第57回(2016年)春期大会および第55回秋期大会において医療安全セミナーを開催する。第57回総会では「臨床細胞検査等における医療安全について」を行う。
2. 第55回秋期大会では, 医療安全セミナーとともに, 医療安全の観点から特に重要な感染対策についてのセミナーも開催する。
3. MSC ホットラインを継続する。利用実績が乏しいので周知を図るよう努力する。

〔審議事項〕

特になし

倫理委員会（委員長代理 池田 徳彦理事）

〔報告事項〕

1. 第55回(2016年)秋期大会では, 倫理委員会指定セミナーとして, 大分大学倫理学講座

の今井浩光教授による講演を予定。

2. 日本医学会より5月11日に行われた「第2回研究倫理教育研修会」に倫理委員会、編集委員会、利益相反委員会の代表に出席依頼があり、倫理委員会委員長 河原栄と利益相反委員会委員長代理 宇津木久仁子が出席した。

〔審議事項〕

特になし

利益相反委員会（委員長 藤井 多久磨）

〔報告事項〕

1. 日本医学会にて行われた「第2回研究倫理教育研修会」の研修内容の報告
2. COIの細則の改定に伴うQ&Aについて
2016年3月に行われた平成27年度第4回理事会にてCOIに対するQ&Aを参考資料として提出し、確認して頂き、委員会内でも確認した。今後は、制度審議委員会 川本委員長に確認して頂き、その後、早急にホームページへ掲載する方向を考えている。
3. 利益相反委員会の内規について
委員会内で新たに内規を作成した。これについても制度審議委員会 川本委員長に確認して頂く予定である。
4. 利益相反自己申告書の送付と未提出者報告
現時点において未提出者は0名の見込みである。

〔審議事項〕

特になし

臨床試験審査委員会（委員長 中村 直哉）

〔報告事項〕

1. 臨床試験審査を随時行っていく。
2. 倫理委員会および臨床試験審査委員会の外部委員に明治大学法学部 小西 知世准教授になって頂くことを選定中である。

〔審議事項〕

特になし

IAC連絡委員会（委員長 長村 義之）

〔報告事項〕

1. The 19th International Congress of Cytology(略称：ICC2016)開催前日、5月28日(土)12:00~17:00でIAC試験の実施。
2. ICC2016でのIACの式典、諸種プログラムなどの詳細の決定。
3. Executive Council 2016-2019がICC2016の終了とともに職務を開始する。

Acta Cytologica の投稿数増加・2017 年の IF 奪還, IAC 試験の実施, Tutorial の推進, Education material の充実など課題が多数. JSCC の会員の方々のご支援をお願いしたい.

〔審議事項〕

青木理事長より, IAC 連絡委員会 渉外担当の広岡保明理事を JSCC と IAC との仲介役として国際交流会委員会の委員に加入してもらうことが提案され, 承認された.

第 19 回 IAC 国際細胞学会準備委員会 (委員長 青木 大輔)

〔報告事項〕

1. 今回の理事会をもって本委員会は終了することが報告された.

〔審議事項〕

特になし

泌尿器細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ (委員長 白石 泰三)

〔報告事項〕

1. 泌尿器細胞診の新報告様式の解説書は, 第 57 回日本臨床細胞学会学術集会で会員に配布予定である. 受け取れなかった会員のために, ホームページに解説書の PDF をアップロードした.
2. 解説書発刊について
5 月 30 日(月)の午前中に委員会を開催し, 協議する. その結果は, 次回の理事会にて報告する.

〔審議事項〕

特になし

臨床試験ワーキンググループ (委員長代理 青木 大輔理事長)

〔報告事項〕

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診と HPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究 (CITRUS study)」
(山梨県, 千葉県柏市)

〔進捗状況〕

最終登録数は 18,471 例 (山梨県 12,192 例, 柏市 6,279 例) であった. 今後, 追跡調査を継続する.

2. 「子宮頸癌疑い患者及び検診受診者を対象とした LC-1000 の有用性に関する臨床試験」
目的: 要精密検査目的で来院した子宮頸癌疑い患者, 及び検診受診者を対象とし, LC-1000 (剥離細胞分析装置: 一般医療機器 シスメックス社製) により算出された CPIx (Cell Proliferation Index) に基づく定性判定の有用性を, HPV 検査と比較するこ

とにより検証する。中間報告会を 2016 年 2 月 20 日に行った。

〔試験予定期間及び目標症例数〕

- ・試験予定期間：2015 年 6 月～2017 年 3 月(終了予定)
- ・目標予定症例数：要精密検査対象者：約 450 例，検診受診者：約 480 例

〔進捗状況〕

- ・現在の進捗：要精密検査対象者：合計 476 例

〔審議事項〕

特になし

細胞診用語解説集作成ワーキンググループ (委員長 竹島 信宏)

〔報告事項〕

1. 電子媒体での用語解説集の作成を目指している。
2. 用語解説の統一した原案の作成完了。作成した細胞診用語解説集は、学術委員会および理事全員の閲覧・修正が終了。情報処理委員会にお願いし、ダウンロード可能な形式にしてホームページ上に掲載予定。今回にてワーキンググループは終了とする。今後の改訂については、学術委員会にて発案を一任する。

〔審議事項〕

特になし

細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ (委員長 植田 政嗣)

〔報告事項〕

1. 細胞診専門医制度の今後の方向性について通信委員会等で討議
2. 日本専門医機構のヒアリング参加
3. 新しい細胞診専門医制度の運用面も含めて細胞診専門医あり方委員会，細胞診専門医委員会，施設認定制度委員会と協力して施行細則整備
4. 平成 28 年度教育研修指導医申請と認定作業

(これまでの経緯)

第 1 回審査会結果(2014 年 12 月)・・・認定 263 名，暫定 113 名

上記「暫定」の内，2015 年秋の細胞診専門医セミナーに参加し認定に移行した方 77 名

第 2 回審査会結果(2015 年 2 月)・・・認定 154 名，暫定 98 名

上記「暫定」の内，2015 年秋の細胞診専門医セミナーに参加し認定に移行した方 50 名

現時点では認定 544 名，暫定 84 名

〔審議事項〕

特になし

肺がん学会とのワーキンググループ（委員長代理 池田 徳彦理事）

〔報告事項〕

1. 喀痰細胞診に関する地域・施設・検鏡者による診断率の差に関する研究をしていく。
2. 標準的な細胞像のアトラスを作成しホームページ掲載の可能性を検討する。
3. 肺癌学会との共同で行った検討・研究が終了し、その成果を土屋眞一 細胞診専門医会会長のご高配により、細胞診専門医会にて東北大学病院 遠藤千頭先生が報告する予定である。
4. 毎年、喀痰の精度管理について東北にてセミナーを行っている。このセミナーを本学会の事業として行う方向性がワーキンググループ内で提案されたとの報告があった。

〔審議事項〕

特になし

教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループ（委員長 杉山 裕子）

〔報告事項〕

1. 第57回日本臨床細胞学会総会(春期大会)中に第1回教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループ会議を実施。
2. 基盤となる各種セミナーのテキストや研修手帳、細胞診ガイドラインなどの内容の符号性の改善の実施。

〔審議事項〕

特になし

9. 審議事項および議決結果

1) 平成29・30年度評議員選出について

2016年5月7日に評議員選出委員会が開かれ、評議員候補者の選出を行った。本年度4月1日時点の正会員数は5692名であり、施行細則第3章第5条に則り、その8%を超えない、上位455名が評議員候補者として選出され、全候補者が評議員として承認された。

2) 第57回平成30年(2018年)秋期大会長選出について

中村直哉理事が推薦され、全員一致で承認された。

3) 会員資格喪失者の会員資格復帰について

会員資格の復帰希望者が4名おり、いずれも免許停止前の滞納年会費の完払と理事長の承諾という内規上の基準をみたしており、希望者全員の会員資格復帰が承認された。

4) その他

長村監事より、日本臨床細胞学会における細胞検査士の今後の活躍の延長線上に、総会の運営をする可能性も検討して欲しいとの要望があった。

閉会の挨拶：紀川 純三 副理事長

以上を以って本理事会の議題が終了し、平成 28 年度第 2 回理事会を終了した。

平成 28 年 10 月 24 日

この議事録が正確であることを証します。

理事長 青木 大輔 

監事 長谷川 壽彦 

監事 長村 美之 

監事 佐々木 寛 